イラン情勢とホルムズ海峡の緊張がもたらす
グローバル・エネルギー危機の地政学的・経済学的検証レポート

1. 結論：地政学的リスクの現実化と石油供給網への多層的インパクト

2026年に発生したイラン情勢の緊迫化とホルムズ海峡の実質的な封鎖は、グローバル・エネルギー市場および世界経済に対して、1970年代のオイルショックに匹敵する構造的かつ長期的な危機をもたらしました。

米国およびイスラエルによるイランへの直接攻撃に端を発したこの衝突により、イランの新最高指導者アヤトラ・モジタバ・ハメネイはホルムズ海峡の閉鎖を宣言し、民間船舶の通航を物理的に遮断しました。これにより、以下の深刻な事態が引き起こされました。

- 世界の原油・石油製品の海上貿易量の約4分の1が停滞
- 世界石油消費量の約20%（日量約2,000万バレル）の供給網が麻痺
- Brent原油価格が一時125ドル/バレルまで急騰

パキスタンとカタールの仲介により「暫定和平合意（MOU）」が締結され、価格は81ドルまで下落しましたが、これは一時的な緩和に過ぎません。海峡内の機雷撤去や海上保険の回復、閉鎖油田の再稼働には数カ月から半年以上の物理的な遅延（アコモデーション・フェーズ）が伴うためです。

今回の危機の真のインパクトは、エネルギーだけでなく半導体製造に不可欠なヘリウムや肥料原料の途絶など、サプライチェーンの多重不全を引き起こした点にあります。IEAや日本による協調備蓄放出が市場を支えた一方で、米国の戦略石油備蓄の枯渇と中国の備蓄増強という、大国間の備蓄能力の「二極化」という新たなリスクも浮き彫りとなりました。

2. 対立とリスクの不可避性：地政学的・歴史的背景の解剖

イランとイスラエルの対立は、代理戦争から国家間の直接衝突へとエスカレートしました。2025年6月の「12日戦争（12-Day War）」では、イスラエルと米国の介入によりイランの戦略的拠点が深刻な打撃を受けました。

この敗北はアリ・ハメネイの権威失墜を招き、2026年のアヤトラ・モジタバ・ハメネイへの権力移行を決定づけました。新指導部は体制の威信回復のため、唯一のカードである「ホルムズ海峡閉鎖」を選択しました。

海峡の最狭部はわずか33kmであり、機雷や高速ボートによる封鎖が容易な地形です。2026年2月以降、18隻の民間船が攻撃を受け、タイ船籍の「Mayuree Naree」や米国所有の「Safesea Vishnu」などで死傷者が発生しました。

米国が保険供与や護衛を約束したものの、民間船舶会社は通航を拒否し、航行は完全に麻痺しました。サウジアラビア等のパイプライン迂回も不十分であり、日量約1,500万バレルの供給途絶が発生しました。

この結果、供給不足から国際原油価格は暴騰したものの、海峡内の産油国自身が自国原油を輸出できずに財政破綻に直面し、インフラ破壊と収入消滅の双方が同時に押し寄せるという「ホルムズ・パラドックス」が発生した[4]。さらに、この封鎖はエネルギーだけでなく、グローバルなサプライチェーン全般に連鎖的なショックを与えた[4]。

対象地域・項目	封鎖期における損失・影響規模	世界的サプライチェーンおよび経済への波及メカニズム
イラン国内**GDP**	約15%の損失（日量4億3,500万ドル相当の逸失）[4]	原油輸出が完全に遮断され、主要な国家収入源の4分の1が消滅。精油所や核インフラの物理的破壊が追い打ち[4]。
カタール国内**GDP**	約9%の損失[4]	世界第2位のLNG輸出港が機能不全に陥り、全輸出能力が海峡内に封じ込められ、アジア向けガス供給が完全に停止[1]。
湾岸諸国全体**GDP**	平均6.2%の損失[4]	輸出港の閉鎖による在庫のオーバーフローにより、上流の油田・ガス田自体の操業停止（シャットイン）が発生[5]。
硫黄および尿素（肥料原料）	世界輸出シェアの45%（硫黄）、50%（尿素）が途絶[4]	肥料製造の原料供給がストップし、北半球の作付けシーズン直前に世界的な肥料価格の急騰を招き、農業セクターを圧迫[1]。

ヘリウム（半導体必須原料）	世界シェアの40%（カタール産）が供給停止[4]	最先端半導体の製造装置冷却に不可欠な極低温ヘリウムの供給が途絶し、グローバルなIT・エレクトロニクス製造業が麻痺[4]。
食品・農産物価格	途絶依存国で配給コストが3%～5%上昇[4]	燃料価格の10%上昇に伴い流通・トラック輸送費用が連動して高騰。特に低所得世帯の家計圧迫と食糧インフレを誘発[4]。

3. 外交的解決の可能性とリスク緩和：パキスタンの仲介外交

パキスタンとカタールによるシャトル外交により、スイスで「米国・イラン暫定和平合意（MOU）」が締結されました。パキスタンが仲介した背景には、隣接するイランの不安定化が自国の治安と経済（送金や投資）に直結する「自衛的戦略」がありました。

とりわけパキスタンが仲介役として前面に立った背景には、単なる外交的野心ではなく、自国の国家存亡に関わる「構造的かつ defensive（自衛的）な防衛戦略」が存在する[16]。パキスタンはイランと約900キロメートルに及ぶ国境を接しており、イラン情勢の不安定化は、バロチスタン地方などを通じた武装勢力ネットワークの活性化や、宗派対立（シリアやイランからの過激派流入）を誘発し、国内の治安維持を致命的に損なう直接的脅威であった[16]。さらに、財政危機に直面するパキスタンにとって、湾岸諸国からの金融支援、直接投資、および何百万人もの出稼ぎ労働者による国内送金は不可欠な生命線であり、中東域内の長期的な軍事・経済的麻痺は自国の国家崩壊に直結していた[16]。

パキスタンは「接続力（Connectivity）」を武器に、米国、イラン、中国、サウジのすべてと対話チャネルを維持し、自国の経済障壁を克服する機会を得ました。

1. イラン・パキスタン（**IP**）ガスパイプライン計画の打開：深刻な電力不足と経済債務に苦しむパキスタンにとって、10年以上前に合意されながら米国の二次的制裁を恐れて進捗しなかったIPガスパイプラインの建設再開は悲願であった[16]。今回のMOU調停の見返りとして、米国から限定的な制裁適用除外（ウェーバー）を勝ち取ることで、高価なLNG輸入よりも安価なイラン産天然ガスの供給feasibility（採算性）を確立し、エネルギー危機を脱する算段を立てた[16]。
2. グワダル港および中パ経済回廊（**CPEC**）の最適化：パキスタン南西部の深海港グワダルは、中国の莫大な投資のもとで年間4億トンの貨物処理能力を持ちながら、隣国イランへの制裁や物流の不確実性により、2023年時点の取扱量はわずか130万トンと宝の持ち腐れとなっていた[16]。デエスカレーションが進めば、中東の港を迂回してグワダルを経由する新たな通商路が確立され、インド近海（ジャム・カシミール紛争地域周辺）を通過する際の高額な海上保険リスク（2023年実績で280万ドル）を回避し、パキスタンのコンテナ輸送コ

ストを劇的に引き下げることが可能となる[16]。

3. イラン向け中継貿易手数料の回収：パキスタンは、自国港湾の稼働低下と中継貿易の未発達により、イラン側の港湾に対して年間最大5億ドルもの通過金利や代替手数料を支払い続けていた[16]。今回の合意は、この多額の資金流出をグワダル港自体の稼働によって国中へと回収する契機となる[16]。
4. アラブ首長国連邦（**UAE**）中継依存からの脱却支援：封鎖前、イランの商業取引や金融・再輸出業務の多くはドバイを経由していたが、紛争勃発に伴いUAEが自国内のイラン系銀行や企業の活動を制限したため、イランは新たな通商ゲートウェイを求めていた[19]。パキスタンが仲介者となることで、イランに対しても代替物流網の提供という強力なインセンティブを提示することができた[16]。

トランプ政権はインフレ対策として、中国向け密輸ルートの取り締まり緩和や制裁免除延長などの「現実外交」を展開しました。しかし、物理的な需給バランスの改善には依然としてタイムラグが存在します。

しかし、暫定MOUによるリスクの緩和は、市場が「平和のシグナル」に先行して過剰に反応した結果であり、物理的な石油需給バランスの改善を伴っていない点に留意すべきである[5]。海峡内には今なお機雷が浮遊しており、船舶の航行はイラン・オマーン沿岸の狭い特定航路に限定されている[5]。また、海峡内の安全が確認され、タンカーの保険適用料金（戦争危険割増保険料）が下落し、アジアの電力会社や石油精製業者が原油調達の契約（入札サイクル）を組み直して実際に物理的な出荷量が平時の水準に回復するまでには、最短でも数カ月以上の物理的タイムラグが存在し続ける[5]。

4. 今後の展望と日本および国際社会の選択肢

原油の94%を中東に依存し、その93%が海峡を通過する日本にとって、この危機は甚大な打撃となりました。燃料インフレによる株価急落や、多岐にわたる産業分野でのコスト高に直面しました。

高市内閣は254日分という強固な備蓄制度を盾に対応しました。志布志基地などから累計8,000万バレルの緊急放出を断行し、市場の安定を図りました。

また、米国産原油のスポット買い付けを10倍以上に増やし、脱中東化を推進しました。政府は2028年3月末までの国内供給の安定性を確保したと発表しています。

しかし、グローバル全体を見渡すと、緊急事態への耐性（備蓄能力）には深刻な格差と構造変化が生じている[5]。国際社会全体における「防波堤」の実態は、以下のような大国間・地域間の極端なアンバランスによって定義されている。

国・地域別カテゴリー	**2026**年時点の備蓄・安全保障上の実態	地政学的リスクおよび選択可能な対抗策
中国 (巨大備蓄による超・回	備蓄量：15億4,100万バレル（Q1 2026末時点）[9]	Q4 2025時点の13億9,700万バレルからわずか数カ月で

復力)		急激に積み増しを実行[9]。イラン原油の最大顧客でありながら、中東途絶に備えて世界最大のバッファーを確立[9]。
米国 (枯渇する戦略資源とインフレ圧力)	備蓄量：4億1,300万バレル（容量7億1,400万バレル）[9]	2022年の国内ガソリン価格抑制のためにバイデン政権が大量放出したSPRを補充しきれないまま危機に突入[9]。商業在庫も1983年以来の低水準にあり、価格防衛能力は極めて限定的[6]。
日本 (堅固な危機管理とバイパス構築)	備蓄量：254日分（2025年末）から45日分を戦略放出[22]	WTIの輸入急増、3週間分に相当する400万トンのLNG民間在庫の維持によって短中期的危機を回避[21]。
IEA非加盟のアジア新興国 (最大の脆弱地域)	備蓄量：極めて低水準またはSPR制度未確立[5]	インド、インドネシア、タイ、フィリピン、ベトナムなどはIEAの共同備蓄枠外にあり、物理的な供給途絶に直接晒された[5]。莫大な資本を投じた石油貯蔵施設の早急な新設が急務[5]。

今後のグローバルな展望として、化石燃料市場の物理的・構造的な耐久力は「エネルギー強度の低下」によって底支えされている。世界経済の実質GDPにおける石油消費の原単位（石油強度）は、省エネ技術の向上と産業多角化により、2024年までの25年間で36%低下しており、これが価格暴騰時における世界経済の即座のスタグフレーション化を防ぐ「時間稼ぎのバッファー」として機能している[25]。しかし、ひとたびカタールからのLNG供給（特にアジア向け）が途絶した場合、電力分野における石炭火力発電の稼働率上昇といった「脱炭素化の逆行」がアジア諸国において強制されるリスクがある[25]。

これに対する日本および国際社会が中長期的に選択可能な対処法は、以下の三点に集約される。

第一に、「ジャストインタイム」から「ジャストインケース」への石油・ガス在庫管理思想の完全な転換である[5]。製油所や輸入企業に対し、平時よりも高い経常的な操業在庫の保有を義務付けるとともに、インドや東南アジアなどのIEA非加盟国に対する「アジア共同備蓄構想（POWERR Asia等）」を加速させ、地域全体のパニック買いを防ぐセーフティネットを構築すべきである[5]。

第二に、中東の特定チョークポイントを完全に迂回する、多国間調達ロジスティクスの恒久化である。今回の米・イスラエルによるイラン攻撃において露呈した中東の脆弱性は一過性のものではなく、今後も再発が想定される。日本は中東依存度を現行の9割以上から段階的に引き下げ、シェール増産が続く米国や、ガイアナ、ブラジルといった南米の新興非OPEC産油国からの輸入

割合を中長期契約に基づき拡大すべきである[21]。
第三に、熱量（Btu）の融通性と代替技術への構造的移行である[25]。自動車輸送セクターの電化（EV・ハイブリッド化）の加速や、原子力発電の再稼働を含む内生的なゼロエミッション電源比率の向上は、中東依存という「エネルギー安全保障上の最大の首輪」を取り除くための根源的な自衛策である[2]。これらの多層的な防衛手段を包括的に機能させることのみが、今後も繰り返されるであろうホルムズ海峡の地政学的危機から、国民生活と経済の安定を守る唯一の道である。

5. 出典および引用文献

- Chicago Council on Global Affairs, “Why the War with Iran Prompted a Global Energy Crisis—and How It Might End” (2026) https://globalaffairs.org/commentary/analysis/why-war-iran-prompted-global-energy-crisis-and-how-it-might-end
- International Energy Agency (IEA), “World Energy Investment Report: Impacts of Middle East Conflict Set to Reshape Energy Investment Plans” (2026) https://www.iea.org/news/impacts-of-middle-east-conflict-set-to-reshape-energy-investment-plans-as-disruptions-put-focus-on-security
- Vision of Humanity / Institute for Economics & Peace, “The Hidden Price of the Iran War” (2026) https://www.visionofhumanity.org/the-hidden-price-of-the-iran-war/
- Center on Global Energy Policy at Columbia University, “US-Israeli Attacks on Iran and Global Energy Impacts” (2026) https://www.energypolicy.columbia.edu/us-israeli-attacks-on-iran-and-global-energy-impacts/
- Center for Strategic and International Studies (CSIS), “What Does the Iran War Mean for Global Energy Markets?” (2026) https://www.csis.org/analysis/what-does-iran-war-mean-global-energy-markets
- Dawn News, “Balancing Act: Pakistan’s Strategic Re-alignments and Gulf Mediations” (2026) https://www.dawn.com/news/2009462
- Eurasia Review, “Between Washington and Tehran: Pakistan’s Strategic Opportunity in the Mediation (Op-Ed)” (2026) https://www.eurasiareview.com/17062026-between-washington-and-tehran-pakistans-strategic-opportunity-in-the-mediation-oped/
- Gulf News, “Iran and US Agree on 60-Day Peace Roadmap via Qatari and Pakistani Mediation” (2026) https://gulfnews.com/world/mena/iran-us-agree-roadmap-to-final-deal-within-60-days-qatar-pakistan-mediators-1.500582214
- Dawn News, “Peace Requires Give and Take: US-Iran Burgenstock Talks with Mediators Pakistan and Qatar” (2026) https://www.dawn.com/news/2009504/peace-requires-give-and-take-us-iran-talks-underway-in-burgenstock-with-mediators-pakistan-qatar
- Statista, “The Chokepoint: Destination of Maritime Crude Oil via the Strait of Hormuz”

(2025)
https://www.statista.com/chart/35914/destination-maritime-crude-oil-strait-of-hormuz/
- LeapRate Forex, “The Last Ledger: EIA’s Iran Report Captures a $48 Billion Shadow Oil Trade on the Eve of War” (2026)
https://www.leaprate.com/financial-services/rules-and-regulation/the-last-ledger-eias-iran-report-captures-a-48bn-oil-trade-on-the-eve-of-the-war/
- U.S. Energy Information Administration (EIA), “World Oil Transit Chokepoints Analysis” (2025)
https://www.eia.gov/international/analysis/special-topics/world_oil_transit_Chokepoints
- Institute for Energy Research (IER), “New EIA Report Shows Extent of Hormuz Oil Disruptions” (2026)
https://www.instituteforenergyresearch.org/fossil-fuels/gas-and-oil/new-eia-report-shows-extent-of-hormuz-oil-disruptions/
- Newsweek Japan, “仲介国家パキスタンの実像：地政学を動かす『接続力』” (2026)
https://www.newsweekjapan.jp/articles/-/319480?display=b
- SME Asia, “Japan Secures Stable Crude Oil Supply through March 2028 amid Middle East Crisis” (2026)
https://sme.asia/japan-secures-stable-crude-oil-supply-through-march-2028/
- Nippon.com, “Japan’s Strategic Oil Reserves System and Resilience” (2026)
https://www.nippon.com/en/japan-data/h02732/
- TankTerminals, “Japan Taps National Emergency Reserves to Combat Strait of Hormuz Freeze” (2026)
https://tankterminals.com/news/japan-taps-emergency-oil-reserves/
- Argus Media, “Japan to Release Second Massive Batch of National Oil Reserves from Shibushi Base” (2026)
https://www.argusmedia.com/en/news-and-insights/latest-market-news/2818569-japan-to-release-second-batch-of-oil-reserves-from-may
- Center for Strategic and International Studies (CSIS), “What are the Implications of the Iran Conflict for Japan?” (2026)
https://www.csis.org/analysis/what-are-implications-iran-conflict-japan
- Wikipedia, “Iran-Israel Proxy Conflict and Strategic History” (2025)
https://en.wikipedia.org/wiki/Iran%E2%80%93Israel_proxy_conflict
- Foreign Policy Research Institute (FPRI), “Humiliation and Transformation: The Islamic Republic after the 12-Day War” (2025)
https://www.fpri.org/article/2025/10/humiliation-and-transformation-the-islamic-republic-after-the-12-day-war/
- Institute for National Security Studies (INSS), “The Israel-Iran War and Its Implications for Iran’s National Security” (2025)
https://www.inss.org.il/publication/israel-iran-war-memorandum/
- Encyclopædia Britannica, “The 12-Day War of June 2025 and Its Aftermath” (2026)
https://www.britannica.com/event/12-Day-War

引用文献

1. Why the War in Iran Prompted a Global Energy Crisis—and How it Might End, https://globalaffairs.org/commentary/analysis/why-war-iran-prompted-global-energy-crisis-and-how-it-might-end
2. Impacts of Middle East conflict set to reshape energy investment plans as disruptions put focus on security - IEA, https://www.iea.org/news/impacts-of-middle-east-conflict-set-to-reshape-energy-investment-plans-as-disruptions-put-focus-on-security
3. Humiliation and Transformation: The Islamic Republic After the 12-Day War, https://www.fpri.org/article/2025/10/humiliation-and-transformation-the-islamic-republic-after-the-12-day-war/
4. Economic impact of Iran War - Vision of Humanity, https://www.visionofhumanity.org/the-hidden-price-of-the-iran-war/
5. Live Updates: US and Iran Sign Deal, Expected to Open Strait of Hormuz - Center on Global Energy Policy at Columbia University SIPA | CGEP %, https://www.energypolicy.columbia.edu/us-israeli-attacks-on-iran-and-global-energy-impacts/
6. Strait of Hormuz Oil Flows: Energy Security and Market Impact - Discovery Alert, https://discoveryalert.com.au/strait-hormuz-oil-flows-risk-premium-asia-exposure/
7. Iran, US agree roadmap to final deal within 60 days: Qatar, Pakistan mediators, https://gulfnews.com/world/mena/iran-us-agree-roadmap-to-final-deal-within-60-days-qatar-pakistan-mediators-1.500582214
8. When Will Oil Prices Stop Swinging? 5 Hormuz Signals to Watch for the Next 60 Days, https://www.ebc.com/forex/oil-price-hormuz-60-day-signals-2026
9. New EIA Report Shows Extent of Hormuz Oil Disruptions - The Institute for Energy Research, https://www.instituteforenergyresearch.org/fossil-fuels/gas-and-oil/new-eia-report-shows-extent-of-hormuz-oil-disruptions/
10. Japan Taps Emergency Oil Reserves - TankTerminals, https://tankterminals.com/news/japan-taps-emergency-oil-reserves/
11. Iran–Israel proxy conflict - Wikipedia, https://en.wikipedia.org/wiki/Iran%E2%80%93Israel_proxy_conflict
12. From Proxy Warfare to Direct Confrontation: The Evolving Landscape of the Israel–Iran Conflict 2024–2025 | Chinese Journal of International Review, https://www.worldscientific.com/doi/10.1142/S2630531325500179
13. The Second “Imposed War”: The Israel–Iran War and Its Implications for Iran's National Security | INSS, https://www.inss.org.il/publication/israel-iran-war-memorandum/
14. 12-Day War (June 2025) | Strike, Ceasefire, Attack, Nuclear Program, Ayatollah Khamenei, American bases, Map, & United States | Britannica, https://www.britannica.com/event/12-Day-War
15. US-Iran talks officially begin in Switzerland with Qatar and Pakistan mediation - UPDATED,

https://en.apa.az/asia/us-iran-talks-officially-begin-in-switzerland-with-qatar-and-pakistan-mediation-updated-512462
16. Between Washington And Tehran: Pakistan's Strategic Opportunity In The Mediation – OpEd, https://www.eurasiareview.com/17062026-between-washington-and-tehran-pakistans-strategic-opportunity-in-the-mediation-oped/
17. 'Peace requires give and take': US-Iran talks underway in Burgenstock with mediators Pakistan, Qatar, https://www.dawn.com/news/2009504/peace-requires-give-and-take-us-iran-talks-underway-in-burgenstock-with-mediators-pakistan-qatar
18. 仲介国家パキスタンの実像 地政学を動かす「接続力」| ニューズウィーク日本版 オフィシャルサイト, https://www.newsweekjapan.jp/articles/-/319480?display=b
19. Pakistan successfully brokered peace between the US and Iran. Can it now reap the dividend?, https://www.dawn.com/news/2009462
20. The last ledger: EIA's Iran report captures a $48bn oil trade on the eve of the war, https://www.leaprate.com/financial-services/rules-and-regulation/the-last-ledger-eias-iran-report-captures-a-48bn-oil-trade-on-the-eve-of-the-war/
21. Japan Secures Stable Crude Oil Supply Through March 2028, https://sme.asia/japan-secures-stable-crude-oil-supply-through-march-2028/
22. What Are the Implications of the Iran Conflict for Japan? - CSIS, https://www.csis.org/analysis/what-are-implications-iran-conflict-japan
23. Japan Set for Record Oil Reserve Release | Nippon.com, https://www.nippon.com/en/japan-data/h02732/
24. Japan to release second batch of oil reserves from May | Latest Market News - Argus Media, https://www.argusmedia.com/en/news-and-insights/latest-market-news/2818569-japan-to-release-second-batch-of-oil-reserves-from-may
25. What Does the Iran War Mean for Global Energy Markets? - CSIS, https://www.csis.org/analysis/what-does-iran-war-mean-global-energy-markets